



基礎研究医養成プログラム 所属学生の活動報告

海外研究留学

基礎研究医養成プログラムでは、所属研究室での活動実績や英語能力により選抜した学生に対し、海外での短期研究留学の旅費支援を行っています。

韓国 UNIST 春期研究短期留学

生化学第一講座横溝岳彦教授の紹介により、韓国の UNIST (Ulsan National Institute of Science and Technology) への留学が実現しました。UNISTは、生命科学とナノテクノロジーを融合するコンセプトで新しく設立された科学大学で、コミュニケーションは英語で行われます。平成 25 年度は 2014 年 3 月 10 日～ 25 日の 16 日間、当プログラム登録学生 2 名が参加しました。

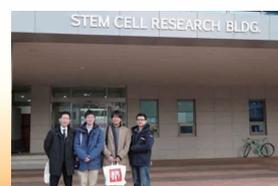
■ 3 年生 (当時) 池田 恒基 君

脂肪細胞特に beige adipocyte の役割について研究を行っている Dr. スンシルの研究室で、white adipocyte、brown adipocyte、beige adipocyte に関する実験を行いました。RNA・DNA の抽出、RT-PCR、細胞培養、ウエスタンブロッティングといった手法を学び、細胞を培養して刺激薬により分化させ、その細胞に発現する遺伝子・タンパク質を定量しました。

■ 2 年生 (当時) 山田 泰平 君

シグナル伝達経路において大切な役割を果たす phospholipase C (PLC) を中心とした研究を行っている Dr. Pann-Ghill Suh の研究室に所属し、ウエスタンブロット、免疫染色、RT-PCR など一通り学びました。UNIST 共同機器施設主催の研究者向け施設・機器・ソフトウェアに関するセミナーに参加しました。

2014.3.10～25



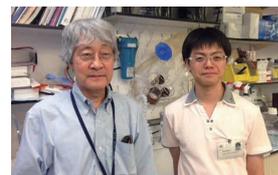
NIH 短期研究留学

老人性疾患病態・治療研究センター平澤恵理先任准教授の紹介により、平成 26 年度より夏季休暇等を利用したアメリカ国立衛生研究所 (National Institutes of Health: NIH) への短期研究留学の支援を行うことになりました。NIH 歯科頭蓋顔面研究所 (NICDR) の山田吉彦先生が受け入れや研究室の仲介をして下さいます。

■ 5 年生 坂入 伯駿 君

2014 年 7 月 28 日～ 8 月 18 日の 22 日間、Dr. Mark Hoon に研究指導を受けました。Dr. Hoon の研究室 (Laboratory of Sensory Biology) では、感覚の情報伝達に関わっている受容体のひとつである TRP チャネルに関する研究を行っており、トランスジェニックマウス作製に必要なプラスミドの作製を学びました。

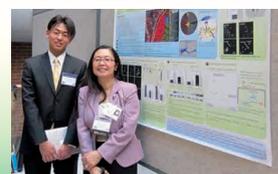
2014.7.28～8.18



■ 3 年生 山田 泰平 君

2014 年 10 月 23 日～ 24 日、NIH-Japan-JSPS Symposium に参加し、ポスター発表を行いました。その前後の 10 月 21 日～ 11 月 1 日の 12 日間、NIH/NIDCR の Dr. Hoffman の研究室で研究指導を受けました。唾液腺の形態形成における細胞外マトリックスの関与について、多くの研究者の方々と共に実験をし、ディスカッションを重ねることができました。

2014.10.21～11.1



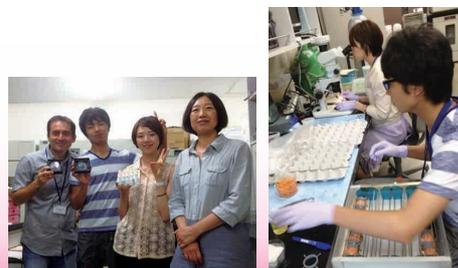
研究インターンシップ参加

大学生のための生命科学研究インターンシップ

2014.8.4～8

■ 3年生 鈴木 佑治 君

全国の大学生を対象に公募された理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター（当時：理研 CDB、神戸市）主催の「大学生のための生命科学研究インターンシップ」に、3倍を超える倍率の中から選ばれ、2014年8月4日（月）～8日（金）の5日間、参加しました。初期発生研究チームを希望して Dr. Guojun の研究室に所属し、ニワトリの初期胚を用いた研究を行いました。最終日に行われた英語での研究発表会ではベストプレゼンテーション賞を獲得し、記念品を授与されました。



大学間交流

第8回愛媛大学先端医学ウインタースクール

他大学の研究医養成コースとの交流事業として、「愛媛大学先端医学ウインタースクール」に参加することになりました。このイベントは学生の研究マインドを高め、教授たちと学生間の活発な交流を促進する宿泊研修です。平成26年度の第8回は2015年2月28日～3月1日、愛媛県今治市で開催され、当プログラム登録学生2名が参加し、発表しました。



2015.2.28～3.1

▼鈴木 君



▼山田 君



■ 3年生 鈴木 佑治 君

マウス海馬の免疫染色および共焦点顕微鏡を用いた解析をおこない、海馬の老化と細胞外マトリックスの関係について新たな可能性を提示しました。参加教官、学生との活発な意見交換がおこなわれ、その議論は研究発表会終了後も続きました。

■ 3年生 山田 晃平 君

血管新生に関わる新規遺伝子についての研究から、強力な血管新生抑制能を持つ組換えタンパク質を同定し、その検証結果を報告しました。参加教官からは、医療応用の可能性について貴重な助言をいただきました。

基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成24年度 文部科学省事業「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。（39大学申請、10大学選定）

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>
お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

さくらキャンパス

○相談窓口 事務部 教務課 (0476-98-1001、内線215)

本郷・お茶の水キャンパス

- 内容について 基礎研究医養成プログラム室
- 具体的な相談について キャリア支援相談室
- 手続き・その他について 本郷・お茶の水キャンパス事務室 (03-3813-3111、内線3221)